

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）北見林業土木協会

活動内容	国有林野ボランティア活動
1 実施年月日 : 令和 4年 6月 26日(日) 2 実施場所 : 北海道北見市端野町 網走中部森林管理署管内 2289林班れ小班 通称:オホーツクの森 3 参加会員数 : 6企業6人 五十嵐建設(株)、水元建設(株)、興和建设(株)、鐘ヶ江建設(株) 松谷建設(株)、村井小泉建設(株)、当協会事務局長 4 活動内容 :	<p>網走中部森林管理署は、大雪山系の武華山を源とする無加川の流域、三国山を源とする常呂川流域及び佐呂間別川流域に位置しており、約11万haの国有林を管轄しています。その内網走市、北見市（旧常呂町・旧端野町）にまたがる「オホーツクの森」は、レクリエーション利用と自然保護を目的として昭和46年に設定されました。</p> <p>常呂川森林ふれあい推進センターと森林ボランティア「オホーツクの会」（一般市民）の呼びかけで28名が参加（当協会6名参加）して平成29年に植樹した針広葉樹の周囲の草刈りと見出し杭打ち等の活動を行いました。当協会では、今後もこのようなボランティア活動に地域住民と一緒に参加していきたいと考えています。</p>
活動写真	
	 <p>(作業内容説明)</p> <p>(作業終了)</p> 

2022年(令和4年)6月30日(木曜日)

樹木の保全に貢献

北見林業土木協会 オホーツクの森づくりで



【北見】北見林業土木協会(五十嵐龍会長)は26日、北見市内で常呂川森林ふれあい推進センターと森林ボランティア「オホーツクの会」が主催するオホーツクの森づく

くり事業に参加し、樹木の保全に貢献した。

木杭に表示板を取り付けた

オホーツクの森の端野町緋牛内地区に位置する自然再生モデル林が対象。外来種のストロウマツを間引きし、ボランティア団体が元来自生していたミズナラやシナ、イタヤカエデなどへの植え替えを進めている。同

協会は例年、維持管理に協力している。

一般市民を含めて20人余りが参加。同協会は鈴木富雄事務局長をはじめ、松谷建設、五十嵐建設、興和建設、村井小泉建設、水元建設、鐘ヶ江建設から各1人の合計7人が作業に加わった。クマや虫刺され、水分補給、足元に気を付けながら植え替えた樹木周辺の雑草を刈り、植えた場所が判別しにくくなっていった樹木の手前に表示板を取り付けた。